

### 10/31ウエスタ川越にて、なんでも相談会開催 商売・くらしの相談は、お気軽に民商へ

「コロナに負けるな！中小業者の商売継続を応援！」と2回目のなんでも相談会を開催し6組の相談者が、融資相談などの相談で訪れました。最近の相談内容について、紹介します。

#### 煩雑な給付金のパソコン申請、

先月 17 日に東松山市民文化センターで行ったなんでも相談会でも、今回の相談会でも給付金や支援金に対する問い合わせが寄せられました。まずパソコンでの申請に、戸惑いが多く、どうにか申請が出来ても何回も書類の再提出を依頼され、支給されるのに3ヶ月ぐらいかかったという人も。

また、昨年からの新しい給付金制度などが国・県・自治体ごとに時期も申請期間もバラバラに開始されています。今回の相談者にも、「月次支援金に、県(埼玉県外出自粛等関連事業者協力支援金)があるのを知らなかった。1ヶ月分でも、もらえるのは助かる。国のほうは受給できているので、早速申請の準備をします」と追加分を知って、喜んでいました。

#### 商売の資金繰り、生活相談など要求は様々

新型コロナウイルス対策のため続いていた、緊急事態は9月末で解除され、飲食店への営業時間短縮要請が25日解除され、経済活動の再開が本格化しました。ですが、コロナ前の景気に戻るには、まだまだかかります。

相談者の中には、「イベント関係の広告業だが、2年ほど毎年開催されていた祭りなどのイベントが全くなくなった。自粛が解除され、やっと仕事の見積もり依頼が来るようになったけど、来年の企画。それまでの資金繰りを考えると頭が痛い」や「対面の接客業で、自粛期間中に、ぱったりとお客さんが来なくなった、自粛が明けても戻ってこない。このままでは、生活できない」など厳しい相談が寄せられました。

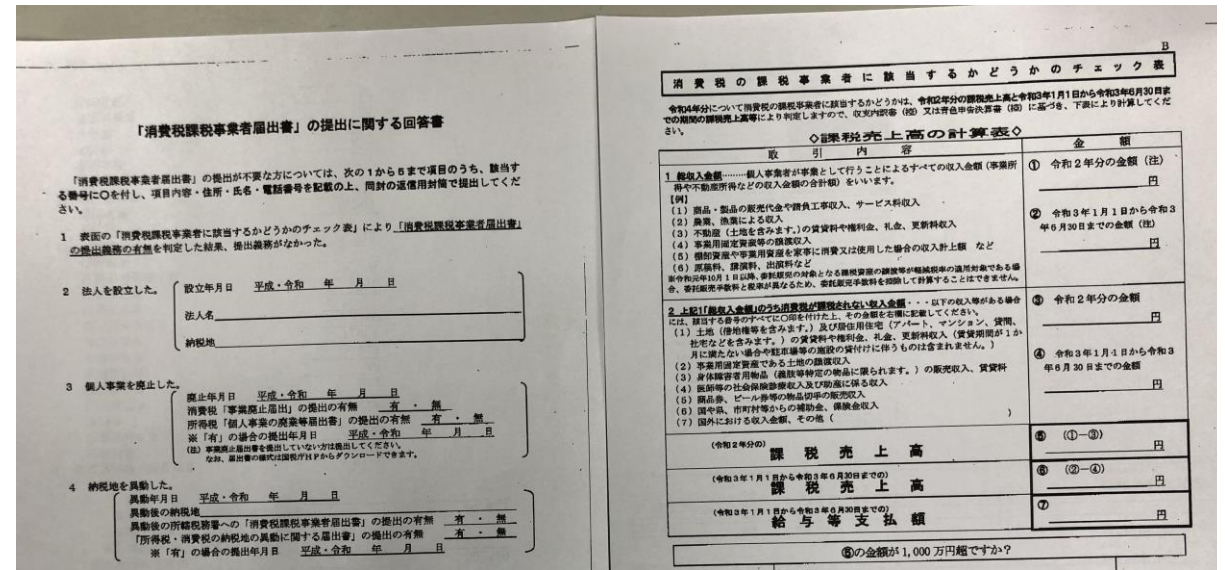
#### 知り合いの業者をご紹介ください！

外出自粛は解除されましたが、コロナ禍はあらゆる中小零細業者に深刻な影響を及ぼしています。民商では、2000件を超える相談実績の中で、業者の皆さんの立場に立った相談対応を心がけています。困っている業者は、大勢います。ぜひ、「民商に相談したら？」と声掛け・ご紹介ください。



### 関東信越国税局から、見慣れない書類が届いていませんか？

10月の下旬から、会員のところに「なんだか税務署？から書類が届いたけど、これ何？」といった問い合わせが何件もきています。書類を見せてもらうと、下の「消費税課税業者届出書」の提出に関する回答書と消費税の課税業者届出書と簡易課税選択の届出書が同封されています。来年度から、消費税の課税業者になるなら関わらず、回答書の提出を求めています。お尋ねなので提出しなくて問題ありません。



#### 総選挙について

第49回衆議院選が10月31日に投開票されました。野党共闘に奮闘いただいた皆さん、ありがとうございました。

自公政権の継続か野党共闘で政権交代かの選挙でしたが、自民党は公示前より15議席減にはなったものの、単独過半数を上回り公明党と合わせ、国会運営しやすい絶対安定多数を確保しました。野党共闘の立憲民主党は14議席減、日本共産党は2議席減に後退しました。しかし全国289の小選挙区のうち214区で野党統一候補にし、62選挙区で与党候補に競り勝っています。神奈川13区では、甘利明自民党幹事長が落選。党の要の役職である幹事長が小選挙区で議席を失うといったかつてないことが起きました。「安倍・菅政治」を継承する岸田政権への国民の不信があることを劇的に示した結果です。

一方で、自公には投票したくないけど、野党共闘もよくわからないといった人たちの票が、自公の補完勢力である「日本維新の会」に流れ、公示前11議席から41議席へと伸ばしました。

政権交代が実現すれば、持続化給付金第2弾や消費税減税など国民・中小業者の目線での景気対策が実現できたと考えると残念です。

引き続き、コロナから国民の命とくらしを守る、中小業者の営業とくらしを守るため、「消費税5%減税」など署名や要請行動で、私たちの要求の声をあきらめず届けていきましょう。